

資料館だより

平成 28 年 (2016) 通巻第 12 号

- 堀川総合調査
- 平成 28 年度事業予定
- 収蔵資料紹介
- 刊行物紹介
- 平成 27 年度事業報告
- ギャラリー利用案内

「堀川運河文化財総合調査」

水巻町教育委員会では、平成 27・28 年度の 2 か年で国と県から補助金を受け、福岡県・北九州市・中間市の協力を得ながら、江戸時代に開削され昭和初期まで石炭の輸送で栄えた堀川運河を土木・治水、歴史などの立場から再評価し、文化財として保存活用の参考とするための総合調査を行っています。平成 27 年度は堀川吉田車返切貫跡の現地調査と文献調査を行いました。

現地調査では、作業痕跡から岩を割る方法や作業工程を明らかにする目的で行いました。崖面に残る痕跡としては、階段状に削り出した跡があり、その表面には工具跡が残っています。矢穴（写真 1、矢という楔状の道具をいれるためのほぞ穴、数 cm～10cm、深さ 10cm 前後の長方形）、矢痕（岩が割れたあとに残った矢穴のあと）、溝状の切れ込み（写真 2、長さ 1m～数 m、幅 15cm、深さ 30cm で 鉞 などを使ったあと）、鑿痕（鑿などで岩の表面を 60～70 度で斜め方向にくの字状に彫ったもの）などです。これらの痕跡から岩を割る作業を途中でやめていることや岩の割り方が分かります。矢穴を掘って矢を入れて割る矢穴技法（図 1）や、さらに鉞で三方に深い溝をつけ、残る一方に矢穴を掘って矢を差し込んで割る切抜技法（図 2）と考えられます。文献には「とひ切」という技法で規定寸法で石を割り出したといわれていますが、これと関連するのかもしれませんが。

どうして途中で作業をやめたのかは、階段状になっている崖面にその手がかりがありそうですが、川幅を広げようとしていたのか、岩などが崩れ落ちるのを防ぐために、犬走り状に残したのかよく分かりません。

一方、現在の川周辺の崖面にも矢痕などが残っていて工事現場が「石切場」としても利用されていたことが推測されます。

専門の先生方にうかがったところ、全国的にみれば、このような切り通しを伴う江戸時代の運河は、高知県、福岡県に類例がありますが数少なく貴重なものだけということです。

文献調査では、堀川開削に功績のあった一田家文書の撮影、河川改修の履歴の分かる図面や写真などの資料の収集を行っています。

まだ、途中経過で解決すべき問題が山積していますが、現地調査と文献調査の分析を行い、他の類例との比較検討を通して、全国的にみた堀川運河の評価が定まっていくと考えます。来年 2 月には、改めて調査成果の報告会を開催する予定です。



写真 1



写真 2



図 1 矢穴技法「甲斐の石積石工技術とその継承」（「山梨県埋蔵文化財センター資料」より）

- ① 矢穴を彫っている
- ② 矢穴に入れた矢を玄翁（げんのう）で打ちこんでいる
- ③ 割れた石をテコで押し広げている。



図 2 切抜技法（「石切場を発掘する」『磨かれた技・豊かな自然』（島根県古代文化センター1998 年より）

平成 27 年度事業報告

■ 野鳥観察会

日時： 5月10日(日)、9月19日(土)、3月12日(土)

講師 日本野鳥の会筑豊
梶原剛二氏

内容 図書館周辺～明神ヶ辻山、遠賀川周辺を歩きながら、双眼鏡やスコープで野鳥を観察しました。



5月



9月



3月

※野鳥観察会でみつけた鳥たちの紹介※

ツバメ・コサメビタキ・オオルリ・ダイサギ・アオサギ・カルガモ・ミサゴ・トビ・ハヤブサ・ドバト・キジバト・アオゲラ・コゲラ・ヒバリ・ハクセキレイ・ヒヨドリ・ウグイス・ヤマガラ・シジュウカラ・メジロ・カワラヒワ・スズメ・ムクドリ・ハシブトガラス・ハチクマ・エゾビタキ・カシムリカイヅブリ・カワウ・マガモ・キンクロハジロ・ハイタカ・ノスリ・カモメ・ジョウビタキ・シロハラ・ツグミ・アオジ(37種類)

★_____は準絶滅危惧種 _____は絶滅危惧種

シジュウカラの巣箱観察の様子

★二つの巣箱に計12個の卵から11羽の可愛いヒナがかえり、成長して巣立ちしていきました。



■ 水巻風景写真展

日時：6月2日(火)～6月28日(日)

来館者：4,234名

内容：昭和30年代と現代の水巻の風景との比較と
昭和57年の水巻の風景ビデオの放映を行いました。



■ 古代の編み物づくり

日時：7月25日(土)

場所：図書館視聴覚ホール

来館者：13組(18名)

内容：縄文時代から伝わる網代編み^{あじろ}で今回は紙を使って敷物や小物入れを作成しました。



■ 図書館歴史資料館会館15周年関連事業

懐かしの映画・ポスター展

日時：9月12日(土)～9月27日(日)

来館者：2,386名

内容：映画看板やポスターの展示と炭坑関連ビデオの放映を行いました。



■ 図書館歴史資料館会館 15 周年関連事業

歴史講演会『水巻の化石と大地』

日時：9月21日（月）

場所：図書館視聴覚ホール

来館者：28名

講師：太田泰弘氏（いのちのたび博物館学芸員）

内容：芦屋層群をはじめとした約3,000万年を中心とした水巻の化石や地層についてのお話をいただきました。



■ 図書館歴史資料館会館 15 周年関連事業

郷土の作家展



日時：10月27日（火）～ 11月8日（日）

場所：図書館視聴覚ホール

来館者：1,477名

内容：図書館との合同企画による水巻と近郊の作家（うえだひろし氏・大貝彌太郎氏・佐藤幸乃氏他）の絵画や書籍（炭鉱文芸誌など）の紹介を行いました。



■ 歴史講演会『古人骨からみた縄文人と弥生人』

日時：2月7日（土）

場所：図書館視聴覚ホール

来館者：29名

講師：松下孝幸氏（土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム名誉館長）

内容：採集社会から農耕社会に移行する変革の時代である縄文時代から弥生時代の変化を形質人類学の立場からお話いただきました。弥生人のルーツは中国山東省周辺にあること、古人骨からみえる現代人とこれからの人々へメッセージなど興味深いお話がありました。



刊行物紹介



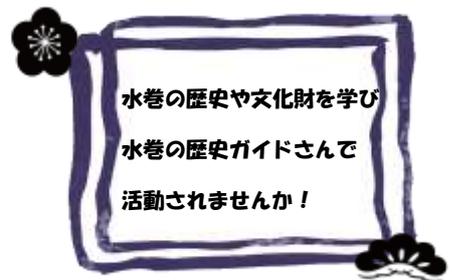
歴史資料館では、水巻に関する書籍を事務室で販売しています。
あなたの町を再発見してみませんか！！

その他の販売冊子案内	
水巻昔ばなし	1,000円
水巻おもいでの写真集	1,000円
増補 水巻町誌	4,000円
わたしたちのまち水巻	1,000円
水巻の炭鉱とその暮らし	200円
石炭物語	2,000円
砧姫物語	1,300円

平成28年度事業予定

日時・内容など変更になることがありますので、事前にご確認下さい

■ 水巻町歴史ボランティア養成講座(全6回)



	日時	内容	講師	場所
第1回	6/4 (土)10:00~12:00	開会式・オリエンテーション	下山要(中間市観光ガイド代表)	視聴覚ホール
第2回	7/9 (土)10:00~12:00	水巻の地形・地質	太田泰弘(いのちのたび博物館学芸員)	屋外
第3回	9/10 (土)10:00~12:00	水巻の歴史と文化財	歴史資料館職員	視聴覚ホール
第4回	11/12(土)10:00~16:00	町内巡検	歴史資料館職員	屋外
第5回	1/14 (土)10:00~12:00	堀川運河について	歴史資料館職員	屋外
第6回	3/11 (土)10:00~12:00	まとめと今後について	歴史資料館職員	視聴覚ホール

■ 『頃末遺跡 A 地点』展示

期日 6月1日(水)~29日(水)

内容 H27年度の頃末遺跡 A 地点の調査の内容のご紹介



■ 夏休み自由研究支援(布草履作り)



期日 7月下旬

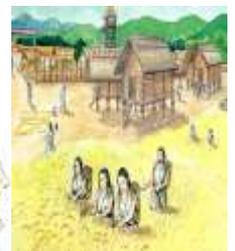
内容 沢山の長く細い布を編んで草履を作ります

参加費 未定

■ 企画展『縄文から弥生へ』(仮題)

期日 1月21日(土)~2月19日(日)

内容 遠賀郡周辺の稲作文化関連資料の紹介



■ 歴史講演会『堀川について』(仮題)

期日 2月上旬

内容 堀川運河文化財総合調査の成果



ギャラリー利用案内

歴史資料館の企画展示室は、町民ギャラリーとして、営利目的や宗教活動・政治活動・管理運営上支障がある場合などを除き、町内の方々に発表の場として無料で貸し出しています。

ご利用希望日の月を含む3ヵ月前から2週間前までに資料館事務室へお申し出下さい。

水巻町歴史資料館

807-0012 水巻町古賀三丁目18番1号

Tel 093-201-0999 Fax 093-201-0995

<http://museum.town.mizumaki.lg.jp/>